

第11回 議会運営委員会

令和6年6月10日（金）	開会	9時10分
5階 第1委員会室	閉会	9時38分

午前9時10分 開会

○委員長（樋田翔太君）あいさつ

みなさん改めましておはようございます。
それでは早速会議を開催します。
ただ今から、令和6年 第11回議会運営委員会を開会いたします。

○委員長（樋田翔太君）

それでは、議題に入ります。
1 地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書の取り扱いについて
を議題とします。
意見書の取り扱いにつきましては、各会派に持ち帰っていただいておりますので、各会派より報告をお願いします。
初めに、「新政みずなみ」からお願いします。

○新政みずなみ会派長（熊谷隆男君）

提案者からの説明も受け、会派でも相談しましたが、大変いい提案であると思います。
このまま発議でよいとの意見です。

○委員長（樋田翔太君）

次に、「公明党、共産党」をお願いします。

○諸会派代表（榛葉利広君）

私からの提案ではありましたが、共産党にも確認させていただきました。大変良い提案ですし、意見書の提出に賛同したいというご意見でした。意見書の提出を議案上程いただければありがたいと思います。

○委員長（樋田翔太君）

はい、それではDropboxの中に意見書の案が入っております。発議者が私で提出先は記載のとおりということになります。軽微な修正があれば私の方で修正させていただきます。よろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○委員長（樋田翔太君）

意見等もないようですので、本件につきましては、最終日に上程することとしますのでよろしくをお願いします。
取り扱いについて、事務局より説明させます。
事務局長 大山雅喜 君

○議会事務局長（大山雅喜君）

ただ今議題となっております、発議第1号 地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書については、本定例会の最終日6月28日に、執行部から提出された議案をすべて議決したのちに、発議第1号を上程し、提出議員による提案説明、質疑、委員会付託を省略し、討論、採決を行いたいと思います。会期日程（案）は、ただ今の説明のとおり変更しておきます。説明は以上です。

○委員長（樋田翔太君）

では、そのように扱うこととします。

○委員長（樋田翔太君）

次に、

2 帯状疱疹ワクチンへの公費助成制度の創設並びに定期接種化を求める意見書の取り扱いについてを議題とします。

この意見書の取り扱いにつきましても、各会派に持ち帰っていただいておりますので、各会派より報告をお願いします。

初めに、「新政みずなみ」からお願いします。

○新政みずなみ会派長（熊谷隆男君）

近隣で自主財源で対応している自治体もありますが、説明を受けて必要性を感じておりますし、過去の一般質問における答弁が国の動向を見るということからも、まずは国へ要望を出すべきとの意見になりました。

○委員長（樋田翔太君）

次に、「公明党、共産党」お願いします。

○諸会派代表（榛葉利広君）

これは私も犬塚議員も一般質問をしております。私の一般質問は市への要望でありましたが、やはりこれだけ要望が多いということでもありますので、まずは 国への要望を先にと
いう意見となりました。

○委員長（樋田翔太君）

ありがとうございました。それでは国の方へ意見書を出すということになりましたが、その後市へも要望していくということです。ではまず、今議会で国への意見書を提出する議案を議会運営委員会から発議し、その後市への要望を検討していくということによろしい
でしょうか。

[特に意見なし]

○委員長（樋田翔太君）

はい。では議案の取り扱いは議題1と同様とします。

次に、3 リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会 市長への要望書の提出についてを議題とします。

リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会 辻委員長に説明を求めます。

○リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム委員長（辻正之君）

昨年12月から水位低下があるなか本年2月に市に報告されたが、5月まで知事や市議会に報告がなかったことについて「市と議会の情報共有をしていただく仕組みを作ってほしい。」という要望を特別委員会にて出すべきとの審議結果となりました。特別委員会で作成した要望書の提出について、議会運営委員会に凶らせていただきたい。

○委員長（樋田翔太君）

ただいまの説明について質疑はありませんか。

○4番（熊谷隆男君）

質疑ではなく意見として言わせていただきたいと思います。この事業は、市の事業ではなく民間の事業であり、市の事業であるなら市民の安全を守るために議会がいち早く動くこともあ
ると考える。しかし、これは民間の事業であり、市も県も対応をされており、今一番何が
有用かという「市民の安全のために市民のみなさんにいち早く情報共有をすること」が
必要と考える。要望書の内容が、今後の市民の生活を守り不安を取り除くために当事者に
明らかな情報を早く公開してほしいという内容ならよいが、議会に何も話がないため議会
が気分が悪いというだけの意味では、稚拙で議長に恥をかかせることになるため、差し控
えた方がよい。出すのであれば委員会でも再考してほしい。

○3番（柴田幸一郎君）

5月17日に特別委員会で現地視察をされ、委員長から「問題なし」と報告を受けています。問題なしなら、このような要望書は出す必要がないと思いますが、なぜこの要望書を出すことになったのでしょうか。

○リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム委員長（辻正之君）

この要望は、委員会の総意です。

○4番（熊谷隆男君）

出すのは委員会かもだが、出す前提であれば議会から出すことになる。委員会以外の方は、現地視察に行ったことも知らない人もいる。逆に委員会が知っていればいいのか。

○リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム委員長（辻正之君）

委員会で視察の後に出た要望であり、特に深い意味はありません。

○委員長（樋田翔太君）

暫時休憩とします。

[9:22～9:37暫時休憩]

○委員長（樋田翔太君）

それでは再開します。今暫時休憩中に話しましたが、要望書につきましてもう少し推敲が必要ということになりましたので、再度委員会に持ち帰り議論していただいて、必要であればもう一度議運に挙げていただくことでよろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○委員長（樋田翔太君）

はい、それではそのような形で行わせていただきますので、委員会後に必要があれば再度議題に上がることといたします。

○委員長（樋田翔太君）

次に、4 その他 を議題とします。何かありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（樋田翔太君）

発言もないようですので、これをもちまして、令和6年第11回議会運営委員会を閉会いたします。
ご苦勞様でした。

9時38分 閉会